

第10回初台プロジェクト会議

『社会貢献・健康増進の市民活動』

開催報告

【開催概要】

日時：平成24年4月20日（金）19:30～

場所：住友不動産西新宿ビル6号館 2F-1 会議室

出席者：24名



1. 健康増進の市民活動について

特定非営利活動法人 新宿区ウォーキング協会 会長

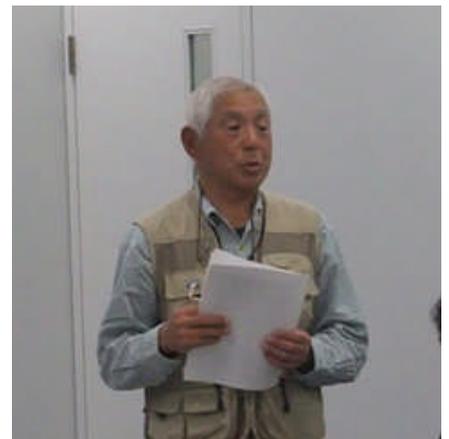
ウォーキング協会の小林さんから、ウォーキング協会の社会貢献・健康増進の活動についてお話いただきました。

ウォーキング協会では、月例ウォーキング、公益財団法人との委託事業、新宿区健康部健康推進課との協働事業を中心に活動を展開しています。ウォーキングは、健康維持の他に外出、地域交流のきっかけとなり、高齢者は身だしなみを気にすることで元気になります。また、自分のまちの新しい発見ができるなどの効果もあります。

今後の活動としては、新宿区内の企業の保険組合に働きかけたウォーキングの企画や、商店街の活性化などを視野に入れた活動を検討しています。

■主な質疑内容

意見おいしく食事をし、適度な運動ができ、ぐっすり眠れば、リハビリは成功したようなもので、ウォーキングとリハビリは通じています。初台ヘルシーロードも間もなく完成し、ウォーキングの企画もあるので、またアドバイスをいただければと思います。（酒向理事）



ウォーキング協会：小林さん

2. 市民クラブチームによる健康増進と社会貢献

セカンドウインドウAC有限事業責任組合 執行役

セカンドウインドの倉田さんから、セカンドウインドの社会貢献・健康増進の活動についてお話いただきました。

セカンドウインドのランニングクラブには、1500人の会員が参加しています。会員はランニング教室やマラソン大会の参加に対し



イベントの様子：新宿区ウォーキング協会のホームページより

て会費を支払い、その会費によりオリンピックを目指す女性ランナーの支援や、陸上を引退した選手をランニング教室の指導者として雇用するという仕組みでビジネスを展開しています。

参加者の年齢は幅広くコミュニティの活性化につながっています。また、企業において社員が健康であることが重要な指標と考えられ、健康増進にランニングなどを取り入れることを検討するケースも増加しており、その支援もしています。

■主な質疑内容

意見. マラソンがビジネスになることは、そこから学ぶことが多くあり、健康医療福祉都市構想の原点であるハンディキャップを持つ方がまちに出てコミュニティをつくるという点で参考になることが多くあると思います。(酒向先生)

Q1. 複数あるクラブのうち会員の内訳はどのようになっていますか？また、どれくらいの規模であれば運営ができるのですか？(山中理事)

A1. 東京が 1,100 名、大阪が 200~300 名で、各地で数十名となっています。運営をするには各地での会員が 300 名は必要だと考えています。(倉田さん)

Q2. 育成の選手にはどれくらいの補助ができるのですか？また、ランニング教室の指導者を増やせば払う給料も増えることになりましたが、市場としてはどのような状況ですか？(酒向理事)

A2. 補助は高い水準を維持できているわけではありませんが、給料と活動費の全てを賄っています。また、指導者について市場はありますが、需要を満たすたす分の指導者分の給料を払うことは難しいです。ただし、ボランティアなどで指導をしてくれる方がいるため運営ができています。(倉田さん)

Q3. 育成選手は女子を限定しているのですか？(松原理事)

A3. ビジネスとして運営するにはオリンピックで金メダルを取る必要があります。陸上で金メダルを取れる可能性が高い女子のマラソンランナーを対象としています。(倉田さん)

3. Keep clean , keep green の精神

—かっこよさを武器にした社会貢献活動

NPO 法人 green bird 代表

green birdの長谷部さんから、green birdの社会貢献・健康増進の活動についてお話いただきました。

green birdの主な活動は、街のそうじです。「街を汚すことはカッコ悪い」というコミュニケーションツールを用いて、若い人を中



セカンドウィンド：倉田さん



セカンドウィンド会報：SWAC



セカンドウィンドのホームページ

心に活動を展開しています。チャンスがあればボランティアに参加したいと考える若者が、参加しやすいように企業と連携しユニフォームや軍手などを作成してファッションブルに活動することや、街頭ビジョンでCMを流しPRにも力を入れています。ボランティアの敷居を下げ、楽しく参加しやすい環境をつくっています。

活動を継続するには、リーダーの存在が鍵となり、みんなを引っ張り面白いことができる人材がいれば、活動の活性化につながります。掃除により、街が美しくなり、コミュニケーションが生まれ、若者たちが自分の街を好きになる地域づくりに貢献しています。

■主な質疑内容

Q1. 活動の継続にはリーダーが重要という話がありましたが、活動をする中で新たなリーダーがうまれてくるのか、それとも継続できず消滅してしまう場合もあるのでしょうか？（酒向理事）

A1. 今までうまくいかなかったチームは2チームありましたが、復活しました。なるべく活動回数を増やして、リーダーだけでなく副リーダーをつくることでリーダーの負担を軽減するようにしています。（長谷部さん）

Q2. シブヤ大学との提携は視野に入っていますか？（渡部さん）

A2. シブヤ大学とも提携しています。シブヤ大学の左京学長は以前、green birdの副リーダーをしていた経緯があります。（長谷部さん）

Q3. 南信州や越後湯沢のようなチームの活動内容は、渋谷のような都会とのやり方とは異なるものですか？（井上さん）

A3. 南信州などは、いつも決まった場所の活動ではなく、ゴミのあるところを見つけて場所を変えて活動をしています。時にはゴミ拾いだけでなく、畑作業なども行っています。（長谷部さん）

■全体を通した意見

- ・ウォーキングは、安全に歩くための対策、安全に歩ける環境が必要であると考えています。また、ランナーの育成について人が憧れを持つ部分でのビジネスは新鮮なものでした。green birdの活動については、物事を複合的にすることでうまくいく事例であり、このような活動で社会が変わると実感しました。（秋山理事）
- ・議題としては健康の議論でしたが、人のつながりを維持することに価値観を持っていると感じました。そこで重要なのが組織を運営する人材であって、この部分が活動を継続するための鍵であると感じました。（山中理事）



green bird：長谷部さん



CM：green bird
のホームページより



green birdのユニフォーム

以上

初台会議について少しでも興味をもたれた方は是日参加を！特に条件等はございませんので参加希望の方は事務局に連絡ください。情報はホームページ(<http://www.suko-machi.net/index.html>)に掲載していますので興味をもたれたかたはアクセスください。